＜様式1＞　管理運営状況評価書　　：選択　　：自動計算のため入力不要

【対象年度：令和7年度】　　（　② 福祉施設　）

Ⅰ　施設概要・利用情報　　（単位：人、%、円、日）

施　設　名		掛川市老人福祉センター山王荘	担当課名	長寿推進課	担当係	高齢者政策係
区　分		内　容　・説　明				
1 施設及び指定管理者の状況	(1) 設置条例名	掛川市老人福祉センター条例				
	(2) 施設設置目的	老人福祉法により高齢者は、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されており、心身の健康の保持及び社会活動への参加のため当該施設を整備し、もって老人の福祉を図ることを目的とする。				
	(3) 施設が有する設備・機能の概要	大集会室、研修室、談話室、休養室、娯楽室、面接室、健康相談室、機能回復訓練室				
	(4) 施設建設年度	昭和53年度				
	(5) 耐震性能	あり　（耐震性能）　Ⅰａ				
	(6) 将来予想される改修経費（想定年度と費用の見込）	R8　ポーチ防水修繕工事　688千円				
		R8　ポーチ修繕工事　36千円				
		R8　LED照明化工事　1,363千円				
	(7) 指定管理者名	中部ビル保善株式会社				
	(8) 指定期間	令和3年　4月1日から　令和8年　3月31日まで				
	(9) 債務負担行為設定の有無	☑ 設定あり　☐ 設定なし　※　設定ありの場合：期間　令和2年度　～　令和7年度　限度額：　100,765千円				
	(10)施設の管理運営形態	① 指定管理料のみで運営				
	(11)自主事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。				
	(12)その他事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。				
	(13)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり　☐ 提出なし　※　地方自治法第244条の2第7項による提出義務				
	(14)利用者満足度調査等の実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※　「実施あり」の場合、直近の実施年度：　令和7年度				

区　分				R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
２　利用状況	(1) 施設利用者数	（目標値）		12,000	12,000	12,000	12,000	※　協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		（実績値）		7,623	8,008	8,252		
	内訳（施設・設備ごと）			7,623	8,008	8,252		
	(2) 施設稼働率（利用率）			R05実績	R06実績	R07実績		↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・整備ごと）	談話室	A	平日昼間	79.7%	79.0%	79.3%		
			B	平日夜間					平日昼間：使用日数÷平日開館日数
			C	土日祝昼間	98.0%	50.0%	40.0%		土日祝昼間：使用日数÷土曜日開館日数
			D	土日祝夜間				
		研修室	A	平日昼間	62.2%	58.4%	61.6%		
			B	平日夜間					平日昼間：使用日数÷平日開館日数
			C	土日祝昼間	72.0%	75.0%	72.0%		土日祝昼間：使用日数÷土曜日開館日数
			D	土日祝夜間				
		大広間	A	平日昼間	60.2%	65.0%	71.9%		
			B	平日夜間					平日昼間：使用日数÷平日開館日数
			C	土日祝昼間	38.0%	62.5%	56.0%		土日祝昼間：使用日数÷土曜日開館日数
			D	土日祝夜間				

区　分			R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
３　管理運営状況	(1) 指定管理者名						※ 1-(7)　現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2) 利用者1人当たりの運営経費		1,350	917	970		
	(3) 運営日数		291	291	291	291	
	(4) 運営人員	① 正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※ 指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		② 臨時職員	3.0	3.0	3.0	4.0	

Ⅱ　施設管理に係るコスト情報

（単位：円、%）

区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(1) 運営コスト（A）	① 人件費	7,979,316	5,634,044	6,262,258	7,463,500	
	② 印刷費					
	③ 通信費	114,073	109,936	129,121	132,000	
	④ 事務用品・旅費・図書費等	167,758	116,314	111,579	173,800	
	⑤ 借上料	985,484	392,595	362,664	539,000	
	⑥ 保険料・消費税(租税公課)等	843,765	885,117	933,433	165,000	
	⑦ その他(支払手数料・広告宣伝費・一般管理費・雑費)	201,150	206,354	207,263	220,000	
	小　計	10,291,546	7,344,360	8,006,318	8,693,300	
	対前年度増減率		-28.6%	9.0%	8.6%	
区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(2) 施設コスト（B）	① 管理委託費（外注費）	800,813	651,397	665,169	770,000	
		800,813	651,397	665,169	770,000	
	② 修繕費	255,950	321,200	82,555	352,000	
	③ 光熱水費	1,482,780	1,271,818	1,195,291	1,540,000	
	④ 燃料費	10,318	14,828	10,050	14,300	
	⑤ 清掃費					
	⑥ 保守点検費					
	⑦ その他（施設消耗品等）	214,467	254,163	288,173	495,000	
	小　計	2,764,328	2,513,406	2,241,238	3,171,300	
	対前年度増減率		-9.1%	-10.8%	41.5%	
(3) トータルコスト（施設管理費の計）（A）＋（B）		13,055,874	9,857,766	10,247,556	11,864,600	
(4) トータルコストのうち、運営コストの割合		78.8%	74.5%	78.1%	73.3%	
(5) 施設の収入　※次頁に入力する		969,498	0	0		
(6) 運営コストのうち、利用料収入の割合		9.4%	0.0%	0.0%		

Ⅲ　収支差額の状況

(1) 指定管理料のみで運営している施設　　注：【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入	969,498	0	0	※ 施設利用料金は、掛川市に収入される
(b) 指定管理料	9,973,700	9,973,700	9,973,700	
収支差額　(a)－(b)	▲ 9,004,202	▲ 9,973,700	▲ 9,973,700	

(2) 利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　　（単位：円）

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入				※ 施設利用料金は、指定管理者へ収入される
(b) 収支差額 【(a)－トータルコスト】				
(c) (b)に対する市の支出額（＝指定管理料）				

(3) 自主事業及びその他事業の状況

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 自主事業の収入	148,920	155,690	155,810	スマホ教室、飲料販売、ヘルストロン使用料
(b) 自主事業の支出	79,097	47,344	90,585	飲料仕入れ、ヘルストロン
収支差額　(a)－(b)	69,823	108,346	65,225	
(c) その他事業の収入	366,000	7,361	253,783	光熱費高騰対策支援金(R5、R7)、コピー代、受取利息
(d) その他事業の支出				
収支差額　(c)－(d)	366,000	7,361	253,783	

【単年度収支】

	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
単年度収支	−2,646,351	231,641	45,152	（利用料金＋指定管理料＋自主事業収支＋その他事業収支）－ トータルコスト
対前年度増減率		−108.8%	−80.5%	

Ⅳ　担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている		
1	設置目的を一部達成できていない		
0	設置目的を達成できていない		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度　＜達成：3点　8割達成：2点　6割達成：1点　6割以下の達成度：0点＞

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
A　施設全体の満足度	90%以上	99.2%	3	
B　サービス内容の満足度	90%以上	99.1%	3	
C　従業員応対の満足度	90%以上	100.0%	3	
D　施設安全対策の満足度	90%以上	98.2%	3	
E　美感・清潔感の満足度	90%以上	99.1%	3	
F　施設の利用者数	12,000人	8,252人	1	老人福祉センターの利用者数は昨年度より増加したが、要求水準には達していない。今後も広報等による周知を強化し、利用促進を図っていく。

(3) 収支の改善状況　※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点とする。

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	前年度より収支状況が向上している	1	主な利用者である65歳以上の方等が大広間等を無料で利用できることから、使用料収入の増加は困難である。
2	前年度と同等の収支状況となっている		
1	前年度より収支状況が縮小している		
0	収支差額が赤字になっている		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設（事業）の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 （施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討）	2	高齢者等に広く利用してもらうことが施設の目的であるため、収支改善を目的とした料金改定は適当ではない。老朽化に伴う修繕は民間でも対応可能だが、市民の安全確保のため、行政が関与して迅速に対応する必要がある。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 （直営化、一定額指定管理料制度など）		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 （独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など）		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 （直営化など）		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	高齢者等にとって、より利用しやすく親しみのある老人福祉センターとなるよう、施設の維持管理や事業運営に努めるとともに、利用者数の増加に向けた適切な施設管理が期待される。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

27 ／ 33

Ⅴ その他自由意見